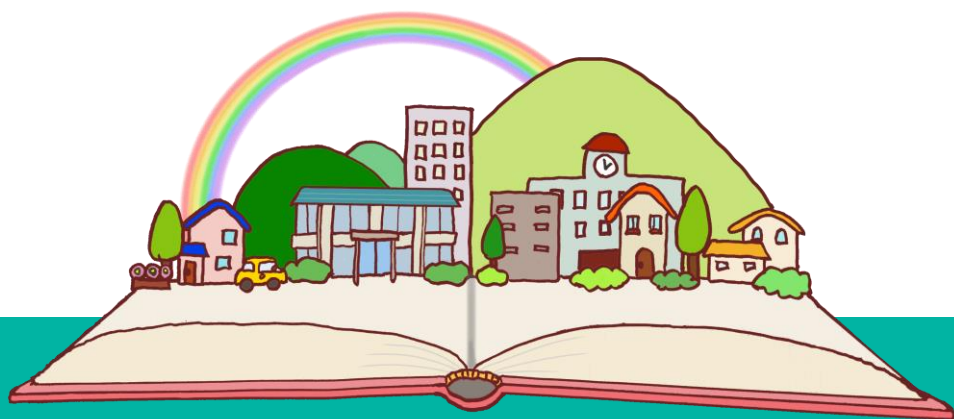


読んでみよう！ 伝えてみよう！

おすすめ本の の ススメ



はじめに

滋賀県教育委員会事務局生涯学習課では、平成30年度から令和5年度にかけて、県内の高等学校等の生徒から同年代の生徒におすすめしたい本を募り、生徒自身が審査をしてベスト50を決定する「しがはいすくーるおすすめ本50選」に取り組んできました。

平成30年度には1,424件だった応募作品数も、令和5年度には2,860件になり、関係者の皆様には多大なるご協力を賜りましてありがとうございました。

このたび、生徒が自主的に読書に親しみ、読書を通じた交流を継続していくために、事業に取り組む中でいただいたご意見やアイディアを小冊子としてまとめました。それぞれの学校図書館の実情に応じて、工夫された読書活動の展開の一助となれば幸いです。

おすすめによる効果

- ★ 自分の気持ちや考えを整理し、表現する。
- ★ 他者の考えを尊重し、理解する。
- ★ 興味・関心の幅を広げる。
- ★ 交流を通じた読書習慣の形成につながる。

1. 読書のきっかけのススメ

ブックトーク

1つのテーマに沿って、複数の本を幅広いジャンルにわたって紹介する手法です。本のあらすじや本文の一部を紹介して聞き手の「読んでみたい」という気持ちを喚起したり、同じテーマでも多面的な捉え方を紹介することで読書の広さを知ってもらったり、読書の潜在欲求の掘り起こしにつなげます。

*ブックトークのガイドブック・動画はこちら



生徒による読書推進活動

生徒が図書館や読書活動について学び、読書のきっかけ作りになるような企画運営を実施する取組です。図書委員や読書リーダーなどが中心となって、書架づくりや展示、POPや本の帯コンテストなど読書の楽しみを広げる取組を進めます。

全校一斉読書

学校生活の中で、一定時間本に向き合う機会を設けることにより、全ての子どもに読書の習慣付けを図る取組です。「朝の読書時間」の設定や読書週間に合わせるなど、学校の実情に沿って実施します。

2. おすすめ活動のススメ

おすすめ本〇〇選

生徒が他の生徒におすすめしたい本の紹介文を200文字程度で書き、紹介文を読み比べて、どの本が一番読みたくなったかという視点で本を選ぶ取組です。短い文章で自分の考えを表現するとともに、紹介文を読むことで他者の考えを理解する言語活動につながります。クラス単位から他校との交流まで、さまざまなグループで紹介文を交換して取り組むことができます。

グランプリ本・大賞本

参加者が複数の同じ本を読み、評価の基準も含めて議論を行った上で、一冊のおすすめ本を決める取組です。複数の本を読み込み、共通の本について自身の考えで話し合うことで、自分と異なる視点を知り、自身の幅を広げることにつながります。

書評合戦（ビブリオバトル）

発表者が読んで面白いと思った本を一人5分間で紹介し、その発表に関する意見交換を2～3分程度行います。全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか」を参加者の多数決で選ぶ活動です。ゲーム感覚で楽しみながら本に関心を持つことができます。一人3分間で紹介を行う「ミニ・ビブリオバトル」という形式もあります。

pitchトーク

「好きな書き出し」「進路で悩んだときに読みたい本」などテーマを決めて、各自が読んだ本を1～2分程度でプレゼンする取組で、ビブリオバトルの形式を取ることもあります。

短い時間で人の心を動かすことを目指すため、自分の考えをまとめたり、文章を推敲したりするスキルを養うことができます。

ペア読書

クラスや他の学年、他校の生徒等、さまざまな二人組で一冊の本を読み、感想や意見を交わす取組です。読む力に差がある場合も相手を意識し、本を共有することにつなげることができます。感想を手紙等のかたちで相手に伝える方法を取ることもあります。



読書会

数人で集まり、本の感想を話し合う取組です。その場で同じ本を読む、事前に読んでくる、一冊の本を順番に読むなど、様々な方法があります。同じ一冊を通読した人たちとの交流により、本の新たな魅力に気付き、より深い読書につなげることが期待できます。

味見読書

グループになり、3～5分間と決められた時間で順番に5～10冊程度の本を全て試し読みした後で、一番読みたくなった本を紹介し合う取組です。短時間でさまざまなジャンルの本に触れることで、生徒の興味の幅を広げます。



回し読み新聞

グループで新聞を持ち寄り、気になる記事や、面白い記事を一人1件ずつ切り抜きます。その後、なぜその記事を選んだかプレゼンを行い、グループ内でのトップ記事を決定します。

記事をスクラップブックにまとめたり、最後に編集後記を付けたりして完成させます。新聞の記事に親しみ、じっくり読むことができる取組です。

さまざまな表現活動

読後の感想や本の紹介等を、新聞形式やポスター形式、カード形式のPOPや本の帯にまとめることで、読書活動を表現活動へと発展させる取組です。作品を学校図書館や校内に展示したり、コンテストを実施したりすることで、生徒が他の生徒の考えに触れ、さらなる読書活動への展開を期待することができます。

学校ごとの学習指導に応じた
読書活動を考えよう！



参考：子供の読書活動推進に関する有識者会議 論点まとめ（令和4年度12月）

3. おすすめ本50選 活用のススメ

POP・本の帯

おすすめ本50選の紹介文をPOPや本の帯に使用して、高校生がおすすめする本の展示を学校図書館で行います。自校や交流のある学校の生徒のおすすめ本、同世代が読むミステリー本、後述の人気ランキングに挙がっている本など、まとまったテーマを設けて展示することもできます。

おすすめ本の福袋

ブックカバーで本の表紙が見えないように覆い、または封筒の中に本を入れるなど生徒からは本の表紙が見えないようにして、おもて面には紹介文を貼っておく展示方法です。生徒は紹介文の内容から想像して、読みたくなった本を選ぶことができます。

おすすめ本読書会

グループに分かれておすすめ本50選の紹介文を読み、実際に読んでみたい本を1冊選びます。グループ全員が同じ本を読んだ後、紹介文から感じた最初のイメージと印象が変わったか、自分だったらどのように紹介するかなど、本の感想を話し合ったり、実際に紹介文を書いたりして自分の考えを表現します。

読書ビンゴ

7×7の49マスの中に1～50の数字を書き（中央のマスは2つの数字を書く）、おすすめ本50選で読んだ、または読んだことのある本の番号に印をつけていく取組です。1年間で1列をそろえることを目指します。

BINGO						
17	9	13	35	14	4	20
43	28	22	3	47	40	16
8	29	7	12	36	2	41
18	15	19	1/50	48	38	30
32	11	27	37	5	46	31
26	24	39	21	44	23	10
49	33	45	6	25	42	34

どっちがAI製？

おすすめ本の紹介文と生成AIによって出力した紹介文を比較して、どちらが人の手によって書かれた文章かを当てるゲームです。

人またはAIだと判断した根拠は何かをグループで話し合うことで、自分の思いを伝える文章の書き方や生成AIの落とし穴を理解することにつながります。また、実際に読んだことがある本の紹介文と読んだことがない本の紹介文とで、どのように判断が変わったかなどを共有し、未知の情報に対する向き合い方を学習します。



『星の王子さま』はサン＝テグジュペリの傑作で、砂漠で出会った小さな王子から大切な教訓を学ぶ物語です。彼が旅する星々は、大人が忘れがちな無垢さや驚きを思い出させ、本当に大切なものは何かを示します。子どもから大人まで、心温まる物語が描かれています。

（ChatGPT による生成）

4. 人気ランキング活用のススメ

令和5年度「しがはいすくーるおすすめ本50選」の応募結果から、高校生に人気のある作家、作品のランキングを発表します。展示やPOPづくりの参考にしてみてください。（カッコ内の数字は応募件数）

作家編



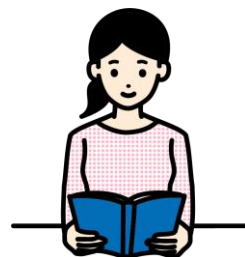
し お み な つ え
汐見 夏衛 (123)



も り え と
森 絵都 (102)



す み の
住野 よる (99)



ひがしの けいご
④ 東野 圭吾 (74)

せ お
⑧ 瀬尾 まいこ (46)

しんかい まこと
⑤ 新海 誠 (57)

みなと
⑨ 湊 かなえ (41)

つじむら みづき
⑥ 辻村 深月 (53)

だざい おさむ
⑩ 太宰 治 (33)

うやま けいすけ
⑦ 宇山 佳佑 (48)

作品編



『カラフル』 森 絵都 著 (102)



『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』
汐見 夏衛 著 (75)



『君の臍臓をたべたい』 住野 よる 著 (60)

④『桜のような僕の恋人』 宇山 佳佑 著 (38)

⑤『かがみの孤城』 辻村 深月 著 (32)

⑥『小説 君の名は。』 新海 誠 著 (31)

⑦『星の王子さま』 サン＝テグジュペリ 著 (28)

⑧『夢をかなえるゾウ』 水野 敬也 著 (26)

⑨『今夜、世界からこの恋が消えても』 一条 岬 著 (25)

⑩『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』
汐見 夏衛 著 (23)

5. 参考資料等

関係法令等

- ・ 学校図書館法（昭和29年4月施行、平成28年4月改正施行）
- ・ 学校図書館ガイドライン（平成28年11月通知）
- ・ 子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年12月施行）
- ・ 子供の読書活動推進に関する有識者会議 論点まとめ（令和4年度12月）
- ・ 子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第五次基本計画）（令和5年3月策定）
- ・ 第5次滋賀県子ども読書活動推進計画（令和6年3月策定）

関連サイト等

- ・ 子ども読書活動支援センター（におねっと内）
- ・ 滋賀県立図書館
- ・ 子ども読書の情報館
- ・ 全国学校図書館協議会
- ・ 国際子ども図書館
- ・ 国立青少年教育振興機構



子ども読書活動支援センター



県立図書館